

科 目 名	保健・体育 Health and Physical Education			担当教員	有馬弘智・横山学		
学 年	4 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分 野	一般	授業形式	実技	科目番号	11G04_20120	単位区別	履修
学習目標	様々なスポーツの運動理論を理解し、基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し、それらのスポーツを実践できるようにする。また、スポーツテスト等で個人の体力・運動能力を把握し、それらの維持と向上をはかる。						
進め方	それぞれの種目の基礎技術は下級生の時に修得しているので、ゲーム中心の内容で授業を行う。その中で各種目の運動理論をより深く理解し、個人の基礎技術の向上、審判技術のレベル向上を目指す。また、選択制度を取り入れ、自分の興味のある種目を選択させることで、社会体育への継続を目指す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 年間授業の概要説明(1) 【スポーツテスト】 2. 記録測定(3)			年間計画を説明し、効率的にかつ安全に授業が行なえるようにする。 F2:1-4 毎年測定することにより、自分自身の運動能力を把握し、運動能力の向上を目指す。 F1:1-4			
	----- [前期中間試験]						
	【ソフトボール・ゴルフ選択】 3. 選択授業の説明、種目の決定(1) 4. ゲーム(9) 5. 実技試験(1)			選択制度を取り入れることで、自分の興味のある種目を選択し、ルールと理論をより深く理解する。また、正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。 F2:1-4, F3:1-5			
	前期末試験						
	【テニス・バスケットボール選択】 6. 選択授業の説明、種目の決定(1) 7. ゲーム(6) 8. 実技試験(1)			選択制度を取り入れることで、自分の興味のある種目を選択し、ルールと理論をより深く理解する。また、正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。 F2:1-4, F3:1-5			
	----- [後期中間試験]						
	【サッカー・ソフトバレーボール選択】 9. ゲーム(6) 10. 実技試験(1)			選択制度を取り入れることで、自分の興味のある種目を選択し、ルールと理論をより深く理解する。また、正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。 F2:1-4, F3:1-5			
	後期末試験						
評価方法	各種目の実技試験と平常点（出席率、授業態度）で総合評価を行う。						
履修要件	特になし						
関連科目	特になし						
教 材	教科書「アクティブスポーツ」（総合版） 大修館書店						
備 考	特になし						